



第2回

吉野川市中小企業者等振興対策協議会

令和4年10月27日（木） 午後2時～

オンライン開催（Zoom）

第2回 吉野川市中小企業者等振興対策協議会 日程

1 開 会

2 協議事項

- (1) 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて
- (2) プレプレゼン大会について
- (3) 第2回吉野川市商工振興プレゼン大会の概要について
- (4) 商業地域活性化支援事業等の見直しについて
- (5) コロナ対策事業の今後の取り組みについて

3 閉 会

【連絡先】吉野川市産業経済部商工観光課

担 当：商工振興係

メールアドレス：shoukoukankou@yoshinogawa.i-tokushima.jp

電 話：22-2226 FAX：22-2237

(1) 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて

令和2年度において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を乗り越えるため、地域内のイノベーション創出に向けて、市内事業者の新たなチャレンジを支援し、モデル的な取り組みに対する給付金を交付しました。

今回は、下記18事業の内、山辛ペッパーズ・株式会社アクト・有限会社吉田商店の3事業者に対し、ヒアリングを実施します。

1 山辛ペッパーズ

「山辛唐辛子」栽培拡大及び商品化事業

自家栽培による個人消費に留まっていた山辛唐辛子の生産農家をまとめ、粉唐辛子、餅等の商品化を軌道に乗せ、吉野川市の特産品化を目指す。

【総事業費】 1,300,590円 (内給付金1,000,000円)

主な支出	原材料費	626,524円
	工事費	266,364円
	消耗品費	155,923円

2 株式会社アクト

水溶性残塗料の固化剤開発

【総事業費】 488,843円 (内給付金488,843円)

主な支出	役員費	300,000円
	委託費	100,000円
	原材料費	44,843円

3 有限会社吉田商店

忌部の藍農家からおくるアスリートサポートプロジェクト第1弾

～吉野川市産藍の種茶商品化事業～

旧麻植郡山川町川田の地で唯一の藍農家となった吉田理氏と共同でこれまでにないアプローチを兼ね備えた「藍の種茶」の商品開発に向けての計画。藍農家で自家用としてのみ焙煎・飲用していた藍の種茶を今回共同にて商品化する。

【総事業費】 910,099円 (内給付金910,099円)

主な支出	機械設備費	272,727円
	原材料費	175,000円
	試作品製造委託費	164,100円

(補足)

・事業の目的

コロナの臨交金を活用した事業で、中小協議会で審査したため給付金の効果の検証と進捗確認、今後の事業者支援の参考とするため。

・事業のスケジュール

令和5年度から中小協（プレゼン大会を除いた年1～2回開催分）で残りの採択者へのヒアリングを実施。毎回3～5事業者を予定しており令和6年度末で一巡予定。

(2) プレプレゼン大会について

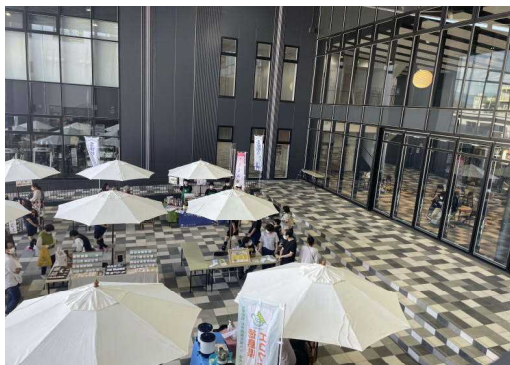
令和4年12月18日(日)開催予定である吉野川商工会議所主催の吉野川マルシェ開催中に商工会議所青年部、商工会青年部、商工観光課内でプレプレゼン大会を開催します。

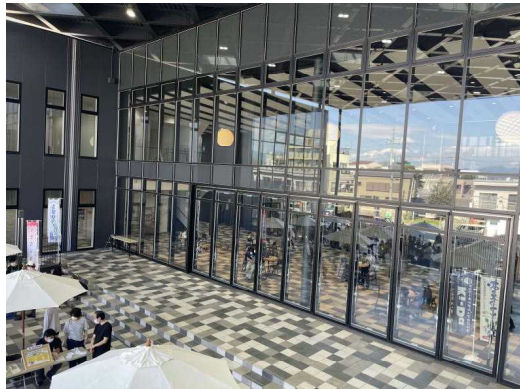
主催は両青年部で、本協議会の事務局である商工観光課も参加します。青年部のメンバー等で現在取り組んでいることや知ってもらいたい事業等をプレゼンしてもらい中小企業協議会の委員や来場者に意見をもらったり、協力できることを模索したり、発展させられるポイントを見出すことを目的とします。

プレプレゼン大会であるため、青年部のプレゼンテーマは絞らず、事務局としては、来年度開催したい吉野川市プレゼン大会の概要やその内容をプレゼンして、プレゼン大会自体に対する意見等をいただき、より良いプレゼン大会の開催を目指すことを目的とします。

- ・第1回吉野川マルシェが10月16日(日)に開催されました。

日本フネプラザをはじめ、鴨島駅周辺で開催され、料理やスイーツ、雑貨など、30店出店がありました。家族ずれら約3,100人でにぎわいました。第2回は11月20日(日)、第3回は12月18日(日)に開催予定です。12月18日の第3回目開催時にプレゼン大会を実施する予定です。





←日本フネン市民プラザツドイニワの奥のスペースでプレプレゼン大会を行う予定で検討しています。

- 当日タイムスケジュール（案）

午前10時00分～、プレプレゼン大会	開始（主催者挨拶、プレゼンター紹介等）
午前10時10分～、吉野川商工会議所	青年部プレゼン
午前10時40分～、吉野川市商工会	青年部プレゼン
午前11時10分～、吉野川市商工観光課	事務局プレゼン
午前11時30分～、総評	

- （補足）

- 目的

令和5年度開催予定の第2回吉野川市プレゼン大会のプレとして実施する。

- スケジュール

令和4年10月末～12月上旬で、プレゼン内容の決定と実施者の確定作業を行う。

(3) 第2回吉野川市商工振興プレゼン大会の概要について

第1回吉野川市商工振興プレゼン大会

プレゼンター	テーマ	現在
おえっこスポーツクラブ	アリーナを拠点としたスポーツ活動での地域活性化	事務局として定期的に会合に参加し情報収集に努めている
森定 真人	5963でブランド化しよう	具体的に進展なし
かもじま五九郎まちづくり株式会社	まちの活性化	主にイベント事業などを展開している
原田 真	やっちゃえローカル!	令和3年度に(社)Kitamuを設立し活動している

令和元年度実施第1回吉野川市商工振興プレゼン大会の様子



吉野川市中小企業者振興対策協議会ビジョン（5年間）で「プレゼン大会の定着化とプレゼンターによる新規事業の事業拡大、また地域を牽引する人材を輩出することを目指す」と掲げています。

そこで、令和5年度のプレゼン大会は、これからの未来を担う学生と現在精力的に活動している社会人の2カテゴリーに分けて実施したいと考えております。

学生枠からは地域活性化や地方創生、新しいチャレンジ等を主テーマとして、社会人枠は現在実施している事業や今後拡大したい事業をテーマとして参加者同士で協力できたり、審査員や傍聴者に事業を知ってもらい何らかの事業発展に繋げていくことが目的です。

(案)

①プレゼンター候補者（直接依頼予定）

【学生枠】

- ・徳島大学 ・徳島文理大学 ・四国大学
- ・川島高校 ・吉野川高校

【社会人枠】

- ・一般社団法人吉野川青年会議所 ・吉野川商工会議所
- ・吉野川市商工会 ・(社)K i t t a m u

②プレゼンの構成

2部構成で、各枠90分以内を目処に開催して合計で3時間以内。プレゼンター含め2部とも基本全員参加として各枠参加者が意見を述べる方式とする。

③プレゼン大会での評価について

プレゼンターはプレゼン大会で発表し、協議会はプレゼン内容について評価する。評価して、実現が可能な場合はワーキンググループを立ち上げ、協議会と連携する。

事業実現に向けて、必要であれば中小企業者等振興基金の運用益を活用し事業補助金、給付金を検討する。

(補足)

・目的

プレゼン大会の定着化とプレゼンターによる新規事業の事業拡大、また地域を牽引する人材を輩出することを目指し、毎年開催できるよう取り組み、次世代人材育成と地域リーダー育成に重点を置き、市内経済の発展へと繋げる。

・スケジュール

令和5年6月～7月でプレゼン大会の公募、令和5年10月～12月でプレゼン大会の実施。以降毎年初夏に公募、秋にプレゼン大会を実施。ワーキンググループが立ち上がった際には中小協と協力して事業支援を実施する。

(4) 商業地域活性化支援事業等の見直しについて

吉野川市では、中心市街地の活性化と転入者による創業支援を目的として次の2つの補助事業を実施しています。毎年ほぼ確保した予算を執行して空き店舗の解消と新規出店の支援を実施していますが、この度補助内容の見直しを検討しています。

・商業地域活性化支援事業の概要と最近の実績

吉野川市鴨島駅前を中心とする商業地域内の空き店舗を活用して新規出店する場合に店舗改装費と店舗家賃の一部を補助する事業です。

年度	事業所名	業種	改装費補助額	家賃補助額
R元	かわにし鍼灸院、助産院	医療、福祉	500,000円	330,000円
R元	あーちゃん	飲食業	500,000円	360,000円
R2	アイサポ吉野川店 まいぶれ吉野川市	携帯修理業等	500,000円	308,000円
R3	杉どん	飲食業	500,000円	360,000円

・移住創業支援事業の概要と最近の実績（令和3年度より新規事業）

吉野川市に他市町村から住民票を移して、市内の空き店舗を活用して新規出店する場合に店舗改装費と店舗家賃の一部を補助する事業です。

年度	事業所名	業種	改装費補助額	家賃補助額
R3	BDJP(株)	製造・小売業	500,000円	360,000円
R3	Di-cafe	飲食業	88,000円	180,000円
R3	リトルリバー	自動車修理業	400,000円	90,000円

・見直し案

現在前述の両補助金事業は、店舗改装費補助額50万円（要した費用の半額、50万円が上限）と家賃補助額（家賃の半額、月30,000円が上限、1年間）で実施していますが、家賃補助が終了した後、廃業するケースも見受けられたため、改装費補助を無くし家賃補助のみとした上で、家賃補助の期間を現行の一年間から例えば三年間に延長することを検討しています。

(補足)

・目的

中心市街地の活性化を目的に空き店舗の新規開業や創業を支援する。

・スケジュール

令和4年10月末～12月で補助金交付要綱の改正案を策定、令和5年度より支援内容を延長した補助事業として再スタートさせる。

(5) コロナ対策事業の今後の取り組みについて

長引くコロナ禍において、原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じ、きめ細かに実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して次の事業を実施します。

(令和4年度)

事業名	事業内容	件数	事業費
第二弾吉野川市おえクーポン券事業(12/1～)	市民一人につき1冊5,000円のクーポン券を支給。利用は市内店舗のみ対象とし、共通券5枚と地元限定券5枚。	約300店舗見込み	197,500,000円 (店舗への換金 予定額)

(補足)

・目的

長引くコロナと燃料・物価高騰に対する中小企業者への支援施策の具現化や実施済又は実施予定の施策に対する効果の検証と意見の集約。中心市街地の活性化を目的に空き店舗の新規開業や創業を支援する。

・スケジュール

中小協開催の時期に実施済又は実施中、実施予定の事業に対する意見を求める。